

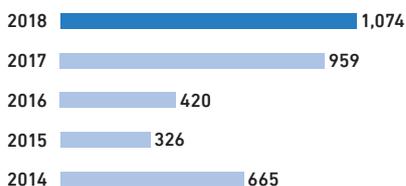
目標とする主要な経営指標 (KPI)

Financial

経常利益 (在庫影響除き)

2022年度目標

1,200億円以上



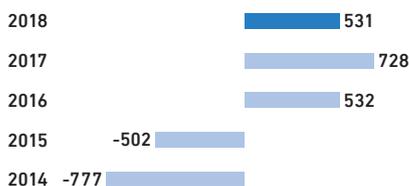
KPIとして選定した理由

民間の石油会社では石油製品を備蓄しておく義務があり、国内需要のうち70日分の在庫を保有しております。当社では、この在庫の会計上の影響を除いた実質的な経常利益をKPIとしております。

当期純利益

2022年度目標

500億円以上



KPIとして選定した理由

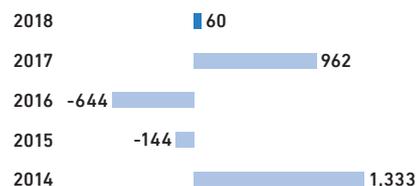
当社の重要視する自己資本や、ネットD/Eレシオなどの財務指標につながる正味の利益であるため、当期純利益をKPIとしております。

フリー・キャッシュ・フロー

2022年度目標

1,500億円以上

(2018-2022年度 5年間合計)



KPIとして選定した理由

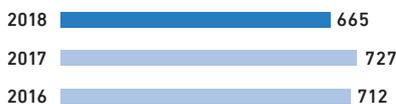
持続的な事業活動の継続や、適切な投資・配当水準などを把握するためフリー・キャッシュ・フローを重要視し、KPIとしております。

Pre-Financial

CO₂排出量^{※1}

2022年度目標

628万ton-CO₂



KPIとして選定した理由

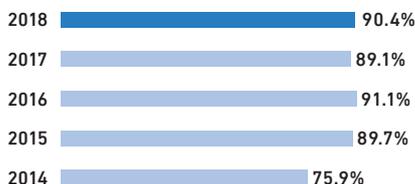
連結中期CSR計画の中で「温室効果ガス排出量の削減」をKPIとして掲げており、また、経営理念に「地球環境との調和と共生」「エネルギーと社会の調和と共生」を掲げております。当社グループでは、CO₂排出量をはじめとする環境負荷低減は、最重要テーマの一つと捉えております。

詳細はP30

年次有給休暇取得率^{※2}

2022年度目標

100%



KPIとして選定した理由

業務の効率化や社員のワークライフバランスの推進を目的として、年次有給休暇取得率をKPIとしております。グループ各社においても、業態に応じて個別に目標を設定し管理しております。

詳細はP40

3つの約束診断[※]の診断評価「AA」獲得比率

2022年度目標

50.0%



KPIとして選定した理由

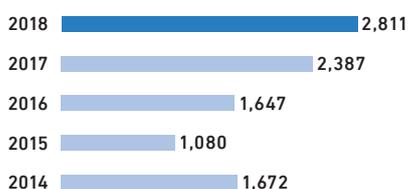
コスモステーションではお客様満足度を高めるため、外部調査機関を利用した覆面調査を年3回実施しており、その調査における診断評価「AA」の獲得比率をKPIとしております。

※3つの約束診断⇒ 詳細はP37

自己資本

2022年度目標

4,000億円以上



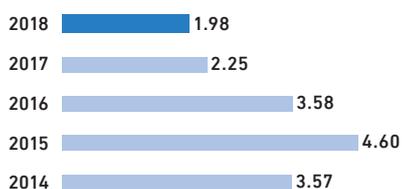
KPIとして選定した理由

過去の在庫影響等により毀損した財務体質を改善させるべく、自己資本の水準をKPIとしております。

ネットD/Eレシオ

2022年度目標

1.0~1.5倍



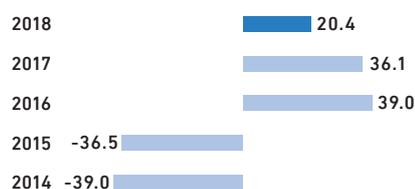
KPIとして選定した理由

自己資本と有利子負債とのバランスを重要視しており、バランスを示す指標の一つとしてネットD/EレシオをKPIとしております。

自己資本利益率 (ROE)

2022年度目標

10%以上



KPIとして選定した理由

自己資本を用いた効率的な利益の計上を重要視しており、自己資本利益率 (ROE) をKPIとしております。

重大労働災害発生件数^{※3}

2022年度目標

0件

2018 ■ 1

KPIとして選定した理由

安全安定操業は、連結中期経営計画・連結中期CSR計画共に重要課題として認識しており、当社グループの最重要テーマの一つと捉えております。特に、製油所を保有するコスモ石油では、OMS (操業マネジメントシステム⇒[詳細はP58](#))を導入し、安全操業と安定供給の達成、業務の改善、機会損失の回避に取り組んでおります。

※1 定義及び対象範囲：連結中期CSR計画の対象となっている当社グループの石油・石油化学セグメント、再生可能エネルギー部門等を集計しています。

※2 定義及び対象範囲：コスモエネルギーホールディングス、コスモエネルギー開発、コスモ石油、コスモ石油マーケティングの社員、契約社員、アルバイトを対象としています。期中全て休職期間等の者、期中の退職者を除き、計算しています。

※3 定義及び対象範囲：休業・不休業の労働災害件数の総数。直接雇用社員・協力会社等を含む、コスモエネルギーホールディングス、コスモエネルギー開発、コスモ石油、コスモ石油マーケティング、丸善石油化学、その他関係会社44社を集計対象としています。